

令和6（2024）年度 （芸術科） 教育指導計画

（1）科目の配当・分担表

（必修 ◎，選択必修 ○，選択 △） （非常勤講師：*）

学 年	科 目 名	必修・選択	単位数	クラス数	時数	担当者名
1 年	音楽Ⅰ	○	2	2	2	古川 裕介 米谷 優*
	美術Ⅰ	○	2	1	2	笹本 衛*
	書道Ⅰ	○	2	1	2	塔筋 真美*
2 年	音楽Ⅱ	○	1	2	1	古川 裕介 米谷 優*
	美術Ⅱ	○	1	1	1	笹本 衛*
	書道Ⅱ	○	1	1	1	塔筋 真美*

(2) 指導計画表

科目名：音楽 I	学年：1	単位数：2	担当者名：古川 裕介 米谷 優
1. 指導目標 ○表現 歌唱・器楽・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱・器楽・創作表現を創意工夫すること。 ○鑑賞 鑑賞に関わる知識を得たりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。 以上の目標を達成すべく、他者と協働して音楽活動に取り組むことを通して、特に本校では以下のような資質・能力を高めていきたい。 ①感性 （自分や他者の小さな変化に気づくことができる） ②人をいたわり思いやりの心をもつ雰囲気醸成 （チームで音楽作品を仕上げる経験を通して、互いを尊重しつつも対等に意見を述べることで豊かな人間関係を構築する） ③ファシリテーション能力 （リーダーシップ発揮のための中核となるスキル） 2. 評価観点 ア 知識・技能 音楽的な見方・考え方を働かせて、音楽表現を創意工夫したり、自分の表現意図を音楽で表現したりするために必要な技能を身に付け、創造的に表している。 イ 思考・判断・表現 ・音楽的な見方・考え方を働かせて、音楽表現を創意工夫し、表現意図をもっている。 ・音楽的な見方・考え方を働かせて、楽曲や演奏を解釈したり、生活や社会における音楽の価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。 ウ 主体的に学習に取り組む態度 音楽的な見方・考え方を働かせて、音楽活動の喜びを味わい、音や音楽を生活や社会に生かそうとし、主体的・協働的に歌唱や器楽、創作、鑑賞の学習に取り組もうとしている。		3. 指導方法 選択生による2クラス編成を、講師と同時展開で行う。 1学期と2・3学期で担当クラスを交代する。 実技実習中心の授業を行う。 4. 評価方法 【知識・技能】 ・実技テスト ・演奏発表 ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・実技テスト ・演奏発表 ・ワークシートやレポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートやレポート ・学習に対する主体的・協働的な取り組み（観察） 5. 年間計画 年間通して、ソルフェージュを適宜取り入れる。 （視唱・視奏・聴音・リズム） 1学期（4月～7月） ・幅広い曲想の合唱作品を2・3曲程度取り上げる。 ・既成の楽曲をもとにしたグループ歌唱発表 ★1学期末 音楽選択生による発表会（前期） クラス別の合唱発表とグループ歌唱発表 2学期・3学期（8月～3月） ・創作分野の学習 ・幅広い曲想の合唱作品を3曲程度取り上げる。 ・グループ創作発表 ★3学期 音楽選択生による発表会（後期） クラス別の合唱発表とグループ創作発表	
使用教科書：MOUSA 1（教育芸術社）			

科目名：音楽Ⅱ	学年：2	単位数：1	担当者名：古川 裕介 米谷 優
<p>1. 指導目標</p> <p>○歌唱 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫すること。</p> <p>○鑑賞 鑑賞に関わる知識を得たりしながら、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くこと。</p> <p>音楽Ⅰで学習したことを踏まえ、より高度で豊かな表現力を学ぶ。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な以下の技能を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい発声法・身体の使い方 ・他者との調和（ハーモニー）を意識して歌う技能 ・表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能（それぞれの場面における各声部の役割を把握する等のスコアリーディングを実施する。） <p>2. 評価観点</p> <p>ア 知識・技能 音楽的な見方・考え方を働かせて、音楽表現を創意工夫したり、自分の表現意図を音楽で表現したりするために必要な技能を身に付け、創造的に表している。</p> <p>イ 思考・判断・表現 ・音楽的な見方・考え方を働かせて、音楽表現を創意工夫し、表現意図をもっている。 ・音楽的な見方・考え方を働かせて、楽曲や演奏を解釈したり、生活や社会における音楽の価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。</p> <p>ウ 主体的に学習に取り組む態度 音楽的な見方・考え方を働かせて、音楽活動の喜びを味わい、音や音楽を生活や社会に生かそうとし、主体的・協働的に歌唱や創作、鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>		<p>3. 指導方法 選択生による2クラス編成を、講師と同時展開で行う。実技実習中心の授業を行う。</p> <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・演奏発表 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・演奏発表 ・ワークシートやレポート <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやレポート ・学習に対する主体的・協働的な取り組み（観察） <p>5. 年間計画</p> <p>歌唱 ボブ・チルクット作曲 「A Little Jazz Mass（小さなジャズミサ）」全曲</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Kyrie 2. Gloria 3. Sanctus 4. Benedictus 5. Agnus Dei <p>鑑賞 What is JAZZ? ～ジャズについて学ぶ～</p> <p>★題材のまとめとして、演奏発表機会を設ける。 (時期未定)</p>	
使用教科書：MOUSA 2（教育芸術社）			

科目名：美術 I	学年：1	単位数：2	担当者名：笹本 衛
<p>1. 指導目標</p> <p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的にあらわすことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>ア 知識・技能 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫している。 美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。</p> <p>イ 思考・判断・表現 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構成を練っている。</p> <p>ウ 主体的に学習に取り組む態度 多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、制作に活かそうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p>3. 指導方法</p> <p>全体説明において、表現方法について理解を深める。 用具の特性を活かした使い方を説明する。制作中、机間巡視を行い、アドバイスをを行う。</p>		<p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作の様子 ・作品 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・制作の様子 ・作品 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・制作の様子 ・作品 ・ワークシート <p>5. 年間計画</p> <p>【平面デザイン課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩の調和や対比を活かした配色の効果を考える。 ・与えられた条件に合わせて画面を構成し、形や色の働きの考えて表現の構想を練る。 <p>【立体デザイン課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙の素材を活かし、表現方法を工夫する。立体的に表すことの面白さを活かし、構成の工夫を練る。 <p>【絵画課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具の特性を生かして、表現方法を工夫し、創造的に表す。観察により、形態や色彩の特徴をつかむ。 	
使用教科書：高校生の美術1（日本文教出版）			

科目名：美術Ⅱ	学年：2	単位数：1	担当者名：笹本 衛
<p>1. 指導目標</p> <p>美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>ア 知識・技能 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫している。 美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。</p> <p>イ 思考・判断・表現 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構成を練っている。</p> <p>ウ 主体的に学習に取り組む態度 多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、制作に生かそうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p>3. 指導方法</p> <p>全体説明において、表現方法について理解を深める。 用具の特性を生かした使い方を説明する。制作中、机間巡視を行い、アドバイスをを行う。</p>		<p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作の様子 ・作品 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・制作の様子 ・作品 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・制作の様子 ・作品 ・ワークシート <p>5. 年間計画</p> <p>【平面デザイン課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩の調和や対比を活かした配色の効果を考える。 ・条件を踏まえて画面を構成することに関心を持ち、形や色の働きを考えて表現の構想を練る。 <p>【立体デザイン課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙の素材を活かし、表現方法を工夫する。平面として描かれた図案を立体的に把握して組み立てる。 <p>【絵画課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具の特性を活かして、表現方法を工夫し、創造的に表す。観察により、形態や色彩の特徴をつかむ。 	
使用教科書：高校生の美術2（日本文教出版）			

科目名：書道 I	学年：1	単位数：2	担当者名：塔筋 真美
<p>1. 指導目標 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書よさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>a. 知識・技能</p> <p>b. 思考・判断・表現</p> <p>c. 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>3. 指導方法 今までの書体験、環境に大きな差があるため、実技では、机間指導による生徒個々へのアプローチを大切にする。理論では、歴史や文学にも興味を持ってもらえるよう導く。</p> <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】 ワークシート、提出作品など</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、提出作品など</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度や課題に取り組む姿勢、振り返りシートなど</p>		<p>5. 年間計画</p> <p><1学期></p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書の臨書を通して、書表現の基本となる用筆・運筆を学ぶ。 (筆圧・遅速・墨量による趣の違い等) 中国唐代に完成された楷書の多様な美に触れ、書表現の奥深さに興味を向ける。 学習した楷書の古典の中からひとつを選び、半切臨書作品を制作。(「国際高校生選抜書展」に出品) <p><2学期></p> <p>五書体のうち、楷書以外の残りの行書・草書・隸書・篆書を一通り学び、様々な書表現があることを知る。まとめとして、漢字二文字の創作(書体自由)と鑑賞会。</p> <p><3学期></p> <ul style="list-style-type: none"> 篆書の学びを受け、姓名印を作る。 仮名の学習を通して、日本文化の良さを発見する。 <p>★年度末に美術・書道選択生による展覧会を開催する。</p>	
使用教科書：書 I (光村図書)			

科目名：書道Ⅱ	学年：2	単位数：1	担当者名：塔筋 真美
<p>1. 指導目標</p> <p>書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のおよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書のおよさを味わい深く捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>a. 知識・技能</p> <p>b. 思考・判断・表現</p> <p>c. 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>3. 指導方法</p> <p>時間数が少ないので、技術的向上より、各自が書に親しみ、達成感を得られるよう支援する。</p> <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】 ワークシート、提出作品など</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、提出作品など</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度や課題に取り組む姿勢、振り返りシートなど</p>		<p>5. 年間計画</p> <p><1・2学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名古筆の書風の違いを学び、創作では伝統的な形式(色紙・短冊・扇面等)でも試みる。 ・文字の始まりである篆書から隸書へと時代を追って学びながら、書道Ⅰでの篆・隸の学習をさらに発展させ、書の幅広い世界を味わう。 ・行書・草書に関しては、作品づくりにおける様々な表現の要素を意識し、より完成度の高い作品づくりを目指す。 ・半切臨書作品制作。(「国際高校生選抜書展」に出品) <p><3学期></p> <p>「漢字仮名交じりの書」の創作と鑑賞。絵手紙風の作品にもチャレンジ。2年間のまとめとして、色紙作品を仕上げる。</p> <p>★年度末に美術・書道選択生による展覧会を開催する。</p>	
使用教科書：書Ⅱ（光村図書）			